

ステップアップ研修 No.5のご案内

# 学びをつなぐ学校図書館 情報リテラシーを育てる

島根県松江市には、学校図書館支援センターがあります。島根県は 2009 年「第2次子ども読書活動推進計画」で「子ども読書年しまね」を掲げ、学校図書館活用教育の推進を図っておられます。今回の研修では、元松江市学校図書館支援センター教育指導講師の林良子先生の実践をお聞きします。「学校図書館は、学校教育のインフラ(日々の学校生活を支える基盤)である」という認識のもと、松江市で作成した「学び方指導体系表」にもとづく授業例、教職員との共通理解や協働についてお話しください。

今年は、学校図書館法公布70周年の記念すべき年です。この記念すべき年に、司書教諭はもちろんのこと、学校司書、図書館教育係、すべての教職員、そして「学校図書館ガイドライン」(2016,11,29 文部科学省)では、「学校図書館の館長としての役割も担う」と明記されている校長先生、そして、市町村教育委員会の皆様を含め、一人でも多くの皆様と共に島根県松江市の実践を学ぼうではありませんか。

- 日 時 11月7日(火) 15:30～17:00 \* Zoom によるオンライン研修
- 内 容 情報リテラシーを育てる「学び方指導体系表」  
司書教諭・学校司書・学級・教科担任など全教職員の協働  
\* はじめに司書教諭委員会による発表(15分)があります。
- 講 師 林 良子先生  
(元松江市学校図書館支援センター教育指導講師)  
著書 『学びをつなぐ学校図書館～松江発! 学び方指導体系表  
を活用しよう～』(シリーズ 学びの環境デザインを考える 第3巻)
- 申込み 所属・氏名を明記の上「学校図書館研修申込み」の件名  
で下記までメールしてください。

長野県図書館協会 [nla@nagano-la.com](mailto:nla@nagano-la.com)

しめきり 10月31日(火)

問合せ 長野県図書館協会 026-217-9201

申し込まれた方には折り返し Zoom ミーティング招待状をメールします。

9月15日、第2回司書教諭委員会で林良子先生をお招きして「学びをつなぐ学校図書館～司書教諭の役割を考える～」というお話をお聞きました。参加者が林先生のお話を聞いて感じたことや学んだことについて紹介します。

学校内における司書教諭の立ち位置や役割はもちろん、図書館と他の先生方を繋ぐ実践も教えていただき大変参考になりました。司書教諭に任命されてはいるものの、何をすべきか曖昧だったのですが、私にできることを少しずつ考えてみようという気持ちになりました。

学校図書館の3つのセンター機能として、読書センター、学習センター、情報センターの役割があるというお話をお聞きました。自らの立場に置き換えて、勤務している学校や生徒たちについて考えてみましたが、読書センターとしての活用はできていても、**学習センターや情報センターとしての活用には、まだ課題がある**と思いました。日々の学習活動の中で、ICTがより身近なツールになってきているということの表れだと感じます。これからの時代において、ICTの利活用は必要不可欠なスキルだと思います。その中でも、**書籍のよさを感じて、ICTとの共生や使い分けができる子どもたちを育てていきたい**と思いました。

司書教諭としての仕事、学校司書との協働、学校図書館の役割、授業例など、**様々な視点で学ぶことができました**。特に、司書教諭と学校司書が話し合う、一緒に作業を行う時間をどうにかつくりたいと思いました。今の職場では、休み時間を利用したわずかな時間でしか話すことができていません。**自分から、これがしたいという思いをどんどん発信していきたいです**。

小中で一緒に教材研究をし、9年間のつながりがわかる体系表の素晴らしさでした。わたしは、中・高学年を担当することが多いのですが、そこでの国語の系統性は意識していても、どう中学につながっているのか知りませんでした。テキストにもあったように、「まとめる言語活動」では、3年レポート、リーフレット、4年の新聞、ポスター、意見文、5年の報告文、6年の投書の先に中学のガイドブックや批評文とつながっていくことが一目でわかり、素晴らしいと思います。

**司書教諭委員会** 担当幹事：長井 裕之(徳間小学校)

委員：委員長 中村 仁志(高社小学校) 副委員長 小山ひかり(旭ヶ丘中学校)

武井 美沙(佐久穂小学校) 坂戸 美穂(開田中学校) 窪田 智子(桔梗小学校)

小林 裕美(井上小学) 伊藤 均(柳町中学校)